

大学連携の推進と産学官連携

自治体情報 大分県竹田市

人口 / 25,113人 標準財政規模 / 11,627百万円

担当課 企画情報課
電話番号 直通 0974-63-4801
実施主体 竹田市
関連ホームページ <http://www.city.taketa.oita.jp/>

事業期間 平成22年度から

関係施策分類 ①、②

予算関連データ

総事業費：2,197千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	2,197

施策のポイント

市役所内に大学連携窓口を設置して大学・市民からのニーズを吸い上げ、両者の学術的・文化的交流を推進するとともに、廃校を大学のキャンパスにするなど、学生の竹田市での拠点づくりを進めている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

竹田市は、「TOP運動」の一環として、「大学のないまちに学生があふれ、学び集う竹田」をキャッチフレーズに、県内4大学と協力協定を締結している。大学の学術的ノウハウの提供と竹田市の潜在能力や価値を学術研究のフィールドとして提供・協力することにより、相互に連携した課題解決と相互の発展、また地域を担う人材の育成を目指している。

2. 取組の具体的内容

平成22年度に開所した竹田キャンパス(旧下竹田小学校)を拠点とし、大分県立芸術文化短期大学を中心とした学生の創作活動や竹田市内での展示会、学生と地域住民との交流活動などを行っている。また、平成21年度に協定を締結した立命館アジア太平洋大学の国際色あふれる学風を活かし、教育分野における学生と小・中学生との国際交流および市民との文化交流を行うなど、文化面においても積極的な活動を行っている。さらに、東京大学大学院景観研究室と受託研究を締結し、白水ダム周辺環境整備事業や城下町再生プロジェクトに係る調査研究を進めている。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

第一に、大学のないまちである竹田市に学生があふれ、市民と交流することにより、地域力・住民力の衰退に歯止めをかけ、「地域再生」の第一歩とすることを目的としている。第二に、「少子・高齢化」「後継者問題」「統合による小学校の閉校」など竹田市が抱える様々な問題に対して、大学が調査・研究することにより課題解決を目指すとともに、調査に協力することにより地域全体でそれらの問題を認識し、立ち向かう姿勢が生まれることを期待している。

4. 現在までの実績・成果

竹田キャンパス(旧下竹田小学校)を拠点とし、平成22年度には大分県立芸術文化短期大学が日韓短編映画祭や2度にわたる演劇公演を開催し、春、夏、冬には市民との交流会を行った。また、市民からの要望があれば市が窓口となり、各種イベント等で参加学生を募集し、派遣している。さらに、竹田キャンパスの成果に続くよう、平成23年度には旧双城中学校を別府大学との連携拠点として活用していくことが決定している。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

協力協定を締結している大学の連携担当者や、竹田市の担当部署が一同に会する意見交換会を平成22年度に行い、大学や学生のニーズ、市のニーズのすり合わせを行った。

6. 今後の課題と展開

大学の特徴を活かし、アカデミックな人脈の広がりを目指すとともに、竹田市の地域資源そのものを大学キャンパスと見立てて、名実ともに「大学のないまちに学生があふれ、学び集う竹田」の実現を目指す。

また、芸短大竹田キャンパスに続き、旧双城中学校の竹田市文化財管理センターが地元要望により教育分野で施設活用することになり、別府大学との相互協力協定に基づく連携事業を視野に入れた施設利用を行う。